

試行錯誤した第4戦

蒲生選手にとっては生まれ育った地元での戦いとなる岡山。

蒲生選手の実兄がスポット参戦、そしてマシンを変更して挑むこととなった松原選手。

新入社員も応援に駆け付けた第4戦は、課題の残る悔しい結果となりました。

今回も非常に僅差の予選となり、ミスなく走ることが出来ましたが、少し速さが足りず10位となりました。

決勝は1周目で順位を上げましたがその後はペースを上げることが出来ず苦しいレースになり、16位でレースを終えました。

今回は地元のサーキットでもあり、ネッツ兵庫から沢山のスタッフさんが応援に来て下さいましたが、結果が出ず申し訳ありませんでした。でも、初めてレースを見た方や初めてサーキットに来た方達に、レースの面白さや難しさを感じて貰える良いキッカケになったと思います。

次は悔しい思いをしないようにしっかりとチームとクルマの準備をして、万全の体制で臨みたいと思います。

応援ありがとうございました。

蒲生 尚弥



Rd.4@岡山国際サーキット

**大勢の応援団が見守る中、
地元サーキットに挑む！**



坂選手



今回の岡山大会では事前テストもさせて頂き、レースウィークもドライバー、メカニック共にヘトヘトになるまでいろんな事を試しました。

その甲斐あって予選では自己ベストを大幅に更新することが出来たのですが、トップから18位の選手までがコースレコードを更新する勢いで、僕自身は後方からのスタートとなっていました。

決勝ではスタートも決まり中盤までは良いペースでしたが、タイヤを使い過ぎてしまい後半ペースダウンさせてしまいました。しかし軽い接触はあったものの、順位を5つ上げてゴールすることができました。

未だにセッティングや走らせ方に新たな発見があって本当に難しいですが、その分やりがいもありますし、次戦の富士ではさらなるタイムアップを目指していきます。

そして今回、新入社員の方々がたくさん応援に来ていただいてすごく励みになりました。日々の業務にまだ慣れない環境の中で大変だと思いますが、頑張っけて続けていっていただきながら、またサーキットの現場でもお会いできることを楽しみにしております。

松原選手



今回、岡山にて事前テストをさせて頂いて必勝態勢で臨んだレースでしたが、結果は予選18位、決勝16位と過去ワーストの成績となってしまいました。

予選がウェットからドライへと変わっていくタイミングにちょうどあたってしまい難しいコンディションだったとは思いますが、それに十分に対応出来なかったことが全てでした。

何かやることなすことすべて裏目に出てしまい噛み合わないレースウィークとなってしまいました。

チームの地元でもある岡山、たくさんの社員の皆さんが応援に来てくださったレースで結果を出せなかったことがすごく悔やまれます。

次戦は毎年一番の盛り上がりを見せる富士スピードウェイです。精一杯頑張りますので引き続きよろしくお願いします。



蒲生選手

- 予選: 10位
- 決勝: 16位

松原選手

- 予選: 1組9番
(決勝A組18番グリッドスタート)
- 決勝: 16位

坂選手

- 予選: 30位
- 決勝: 26位





メカニック VOICE

予選はウェット～ドライ、そして決勝は快晴。
難しいセッティングとなった今回を2名の参加エンジニアが振り返ります。



- ① レースに参加した感想 ② 学んだこと ③ 店舗へのフィードバック ④ 今回経験した事を今後の仕事にどう活かすのか
⑤ 今後参加するスタッフや後輩に一言

太子店/松盛スタッフ

- ① 今回エンジニアとしてレース車両の整備をさせていただき、車両がピットに戻ってくるまで不安でしたが、問題なく走り終えたときはとても安心しました。お客様の車を整備する際も1つ1つの確認を怠らず、自分の整備に責任をもつことの大切さを再認識できました。レース車両を整備する機会はめったにないことなので貴重な経験ができました。
- ② レースは個々の競技ではなくチーム全体での競技なので、コミュニケーションをしっかりと取り合っていくことの大切さ、チームワークの重要性を学びました。また普段の整備から声だしは意識して整備していますが、改めて声だしの重要性を学びました。
- ③ 店舗も個々ではなく店舗全体で盛り上げていく必要があるので、レースで学んだ事を活かしてコミュニケーションをとりながらチームワークを深めていこうと思います。
- ④ 今回のレースで確実に素早い整備の必要性を再確認できました。お客様の車でもレース車両同様に、自分の作業に責任をもって確実に素早い整備を心がけて作業に取り組んでいきます。
- ⑤ 車の知識や作業などとても勉強になることが多いですし、自分の弱点など見つめ直すいいきっかけにもなると思います。自身のレベルアップが出来、得られることも多いので、ぜひレースに参加してみてください。

花田店/宮内スタッフ

- ① 車のレースにはあまり関心がなかったが、4日間のレースを終えて色々な事を学びレースに興味が湧くような貴重な4日間でした。
- ② 普段店舗ではリフトを使っていますが、レース会場では手動のジャッキを主に使用して作業をする為、声だしや車両周りの確認の大切さを改めて感じました。
- ③ 工場内での大きな声だし。お客様の車の取り扱いを丁寧にし、作業を正確且つ素早く作業することを考えました。
- ④ 4日間という短い期間の中で自分の弱みが再確認できたと思うので、教わったこと、アドバイスをしっかりと自分の中で整理し、責任感、緊張感をもって日々の作業に取り掛かれるようにします。
- ⑤ 自分を成長させる為のいい機会でもあると思うので、なにか一つでも持って帰って新しく仕事に取り掛かれるようにがんばってください。



新入社員応援団の声

今回は、2018年度入社のピカピカ新入社員たちが応援に駆け付けてくれました！
ほとんどのスタッフがモータースポーツに触れるのは初めてとか。
彼らの目に86/BRZレースはどう映ったのでしょうか？



- ・初めて生で観たレース観戦で、思ったよりも迫力があって凄かったです。レースの魅力を知ると共に過酷な勝負の世界であることを知りました。今回、このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- ・レースを観に行った経験のないぼくにとって本当にいい経験となりました!! また応援に行きたいです!!
- ・普段見ている86とは違った印象を受けた。車には人それぞれ楽しみ方があり、人それぞれ見方がある。お客様が車をどう使うかを考え、提案しないとイケないと感じました。
- ・普段経験できないレースの難しさやたいへんさを学ぶ事ができとても勉強になりました。
- ・レースにかける情熱、ドライブテクニック、タイヤマネジメントなどを大切に、本気で楽しんで挑んでいるんだと強く感じられ、楽しめました。
- ・迫力があって、見てて魅了されました。レーサーの方は皆様気さくに話してくださって、夢は叶うと思いました。レーサーの本気さがレースから感じ、何かに本気で全力で取り組まれている方はカッコよかった！整備される方々もチームで、みんなで戦っていると感じました。
- ・チームの勝ちたかったという気持ちがレース後にすごい感じました。鳥肌が立った。勝ち負けの世界を久々に感じて、自分も勝ち負けの世界に入れる選手が羨ましいと思った。これからも全開で頑張ってください。
- ・厳しいレギュレーションの中、チーム一人一人が速く走ることを追求して個々の役割を全力で果たす姿勢に凄く感動しました！
- ・初めてレース観戦して、さらに車の楽しさを実感する事ができました！
- ・レースを初めて見て、ゲームの世界しか知らなかったのが簡単に追い越せるものだと思っていたけど、車1台で何百万とかかかっていて、ちょっとスリップするだけでも命を失うかもしれない命をかけた戦いで、1人車の中で孤独な勝負。めっちゃくちゃかっこいいし、選手の悔しそうな顔をみてレースへの熱い思いを感じて、レースってこんなにも熱くて命をかけた戦いなんだと身に染みた。
- ・接戦でとても見応えがありました。別のレースなんかも見てみたいと思いました！
- ・レースを初めて間近で観戦して、すごく迫力がありました。プロのドライバーの走りは本当にすごいと思ったし、自分の会社がこういう取り組みをしていると言うのはすごく誇りに思えました。
- ・初めて観戦しとても迫力のあるレースでとても楽しかったです！また、生のボルシェを見ることができとても感動いたしました。ありがとうございました！
- ・これから経験できるか分からないことが経験できて本当に貴重な一日になりました！レースはテレビでしか見たことがなかったので、実際に見れて感動しました！これからも随時チェックして応援します！



蒲生選手の実兄、蒲生真哉選手がスポット参戦!! —昨年活躍した旧121号車でクラブマンクラスに挑みました。

レース業界に身を置いている訳ではないものの、スーパーFJへの参戦経験もあり、岡山ではプロドライバーである弟よりも速いという伝説を持つ蒲生真哉選手。昨年に続くスポット参戦、今年も魅せてくれました。



AE86のチャンピオン 田嶋聡選手が松原号をドライブ。 フロントローからスタートするも、4位でフィニッシュ!

ネッツ兵庫のサーキットイベントなどで所縁の深い田嶋聡選手。
AE86のチャンピオン経験者でもある田嶋選手は、期待を裏切らず1組ポールから決勝へ。
表彰台を目指し周回を重ねるも、後半の失速で4位フィニッシュとなりました。



